

第3回 静岡市下水道使用料懇話会会議録

- 1 日 時 平成17年10月25日(火) 10時00分～13時36分
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎3階 308会議室
- 3 出席者 (委員)鈴木会長、安形委員、芦澤委員、岩瀬委員、劔持委員、
小長井委員、後藤委員、竹内委員、仲澤委員、内野委員、
青山委員、家木委員、小泉委員、佐藤委員
(事務局)若林下水道部長、荒木下水道部理事、
小林部参与兼下水道総務課長、今井下水道計画課長、
宮原下水道建設課長、立川下水道維持課長、
飯田下水道施設課長、井上清水上下水道サービス課長、
大原下水道総務課参事兼統括主幹、杉山下水道総務課参事兼
統括主幹、福島下水道計画課参事兼統括主幹

4 静岡市下水道部長あいさつ

5 会長あいさつ

6 議 事

(1) 第2回静岡市下水道使用料懇話会意見について

第2回静岡市下水道使用料懇話会意見について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(2) 静岡市の下水道使用料体系の一元化に関する基本的考え方について(素案)

静岡市の下水道使用料体系の一元化に関する基本的考え方について(素案)事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(3) 下水道使用料体系素案について

下水道使用料体系素案について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(4) 使用料改定案の試算における井戸水使用世帯に対する認定汚水排出量と福祉的減免の程度について

使用料改定案の試算における井戸水使用世帯に対する認定汚水排出量と福祉的減免の程度について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

7 懇話会において提出された質問、意見等は下表のとおり。(発言順、内容は要約)

委員名	質 問 、 意 見 等 の 要 旨
竹内委員	将来目標の96%は山間地も含むのか。投資効率を考えると山間地まではもったいないと思う。
家木委員	経費回収率70.5%の場合、一般会計からの補助金への影響はどうか。
家木委員	経費回収率目標70.5%の根拠となる類似団体の資料を提出してほしい。
仲澤委員	経費回収率目標70.5%と一元化案の表の70.6%との差異は何か。
鈴木会長	経費回収率目標の達成時期を財政計画期間平均としているが、今回の財政計画期間最終年度である平成21年度に達成という考え方ができるのではないか。

内野委員	目標とする経費回収率は、旧清水市と旧静岡市の汚水処理原価、経費回収率、普及率の格差や水準を考えると、旧清水市にとって厳しいものとならないか。
鈴木会長	基本使用料の設定の考え方は、設定根拠も明確であり、妥当性があると考ええる。
家木委員	990円でも他の政令指定都市と比して高く、市民合意が得られるか。
家木委員	静岡地区の大口事業者が引下げになることに対して、市民は納得していただけるか。
剣持委員	清水区は思ったほど引き上げにならないと感じる。旧清水市で一般会計からの負担が大きかったことなど、この懇話会で初めて知った。このような情報を市民へ提供していくことが大切だと思う。
安形委員	一元化には賛成であるが、段階的に引き上げるという方法も検討してもらいたい。
安形委員	各地区、各自治会の会合に、市で説明に来てほしい。
佐藤委員	一元化は必要だと思うが、金額的にもできたら段階的にしてほしい。
鈴木会長	ホームページによる情報公開のような手法が現代では有効だと思う。
仲澤委員	使用料体系の変更についての説得力はあると思うので、異論はない。現実論として、清水区については経過措置や段階的施行を検討してほしい。
小長井委員	旧清水市が格安であったことを理解してほしい。旧静岡市の少量排水者の負担が軽減されたことはよいと思う。
後藤委員	旧清水市の下水道普及率はどの程度か。
後藤委員	検針員はどのような人たちが。市の職員か。
芦澤委員	静岡地区については、基本的に引下げということになるが、清水地区の人たちが納得するような形で進めてもらいたい。
安形委員	早期に下水道供用開始となった所の点検をきちんとしていただきたい。
内野委員	一般の方にもわかりやすい言葉のQ & Aのようなものをお願いしたい。
岩瀬委員	私は一括で変更した方がよいと思う。PRは積極的に行ってほしい。
竹内委員	節水意識の向上の観点から、累進逓増制を採用したのはよいことだと思う。 一般家庭は節水可能だが、企業活動の場合は簡単には節水するわけにはいかないのでは、あまり企業だけに負担を負わせることはないのでは。
鈴木会長	節水意識が高まると使用料収入に影響があると思うが、排水量見込みに影響は勘案してあるか。
青山委員	静岡地区の中間層も引き上げとなるのはなぜか。
小泉委員	経費回収率目標の達成時期を平成21年度にした場合の試算を出してほしい。実施方法は、一括施行と段階的施行といずれも正しいと思うが、現実論としては市民にとっては負担額の引き上げが少ないほうが理解されやすいのではないか。
家木委員	建設コストの縮減について資料をいただきたい。
芦澤委員	井戸水使用者の上がる根拠を教えてほしい。
鈴木会長	以前単身者は10m ³ も使わないという話を聞いたような気がする。
鈴木会長	福祉的減免の程度は両論が提示されていると感じたが。
小長井委員	生活保護者であっても、排出した分については負担してもらおう方が望ましいと思う。
家木委員	私も後段の考え方（基本使用料を免除して、使用水量に応じて負担してもらおう）がよいと思う。
家木委員	下水道使用料の収納率はどのぐらいか。使用料の変更の影響で下がるのではないか。

会 長

委 員